

吉田委員からのご意見

1. 各目標達成に向けてのご意見

まちづくり

- ・通行空間の整備について、自転車分担率の高い地域や事故が多い箇所など県として優先する箇所の考え方を持って優先順位を決めて取り組む必要がある。
- ・放置自転車対策として、駐輪場整備とシェアサイクルを一体的に考える必要がある。

安心・安全

- ・机上の安全教育では、ルールだけで安全な乗り方が身につかない。実技を伴う教育が必要。
- ・中学や高校から自転車通学が始まるが、技能が身につけていない状況でいきなり通学利用するため危険性が高い。
- ・ライフステージに応じ必要となる知識や技能を明確にし、自転車に特化した具体的な取り組み内容を決める必要がある。

観光

- ・サイクルツーリズムは、地域活性化につながる可能性はある。サイクルツーリズムが地域にもたらす便益を分かりやすく示すことで、市町等の関係者の理解も進み取り組みが促進される。

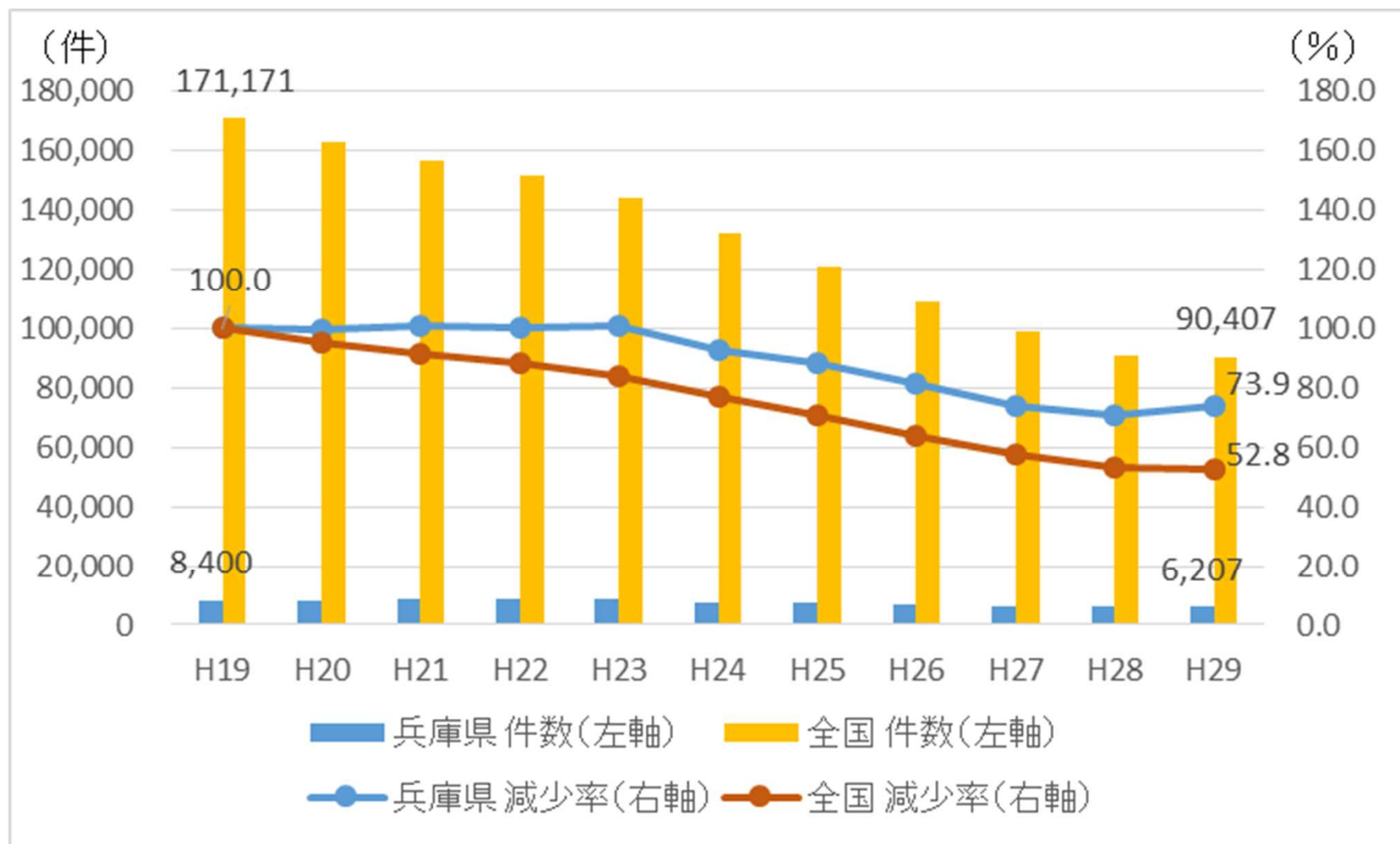
健康

- ・月に数回利用するようなサイクリングやイベントでは、健康増進に寄与しない。運動の継続性日常性が重要。日常的な利用が促進される施策を検討する必要がある。通勤利用を推進する企業を増やすこともよい。

2. 計画全体に対するご意見

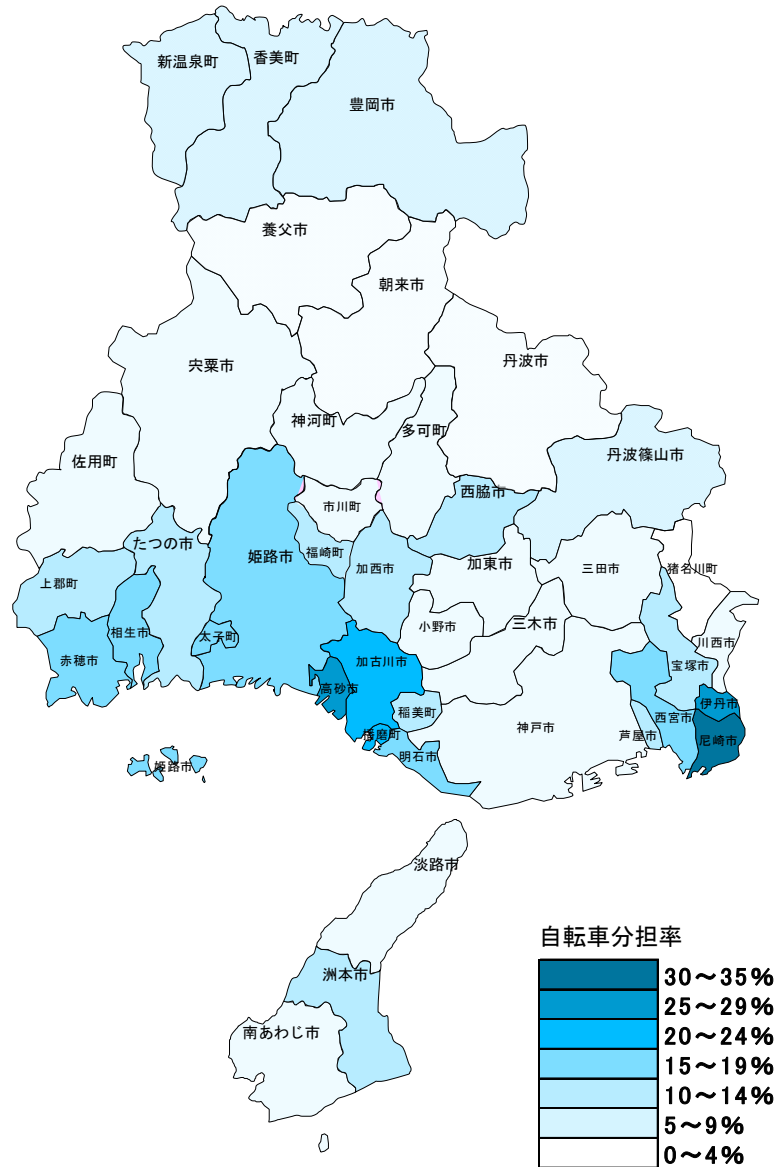
- ・現状を把握するために必要なデータが不足するものについては、それを調査することを計画に位置付け取り組む必要がある。
- ・取り組み施策には、施策ごとの優先度を定める。また、取り組み内容について、目標数値やスケジュール示す必要がある。

■ 自転車関係事故の減少率(全国・兵庫)



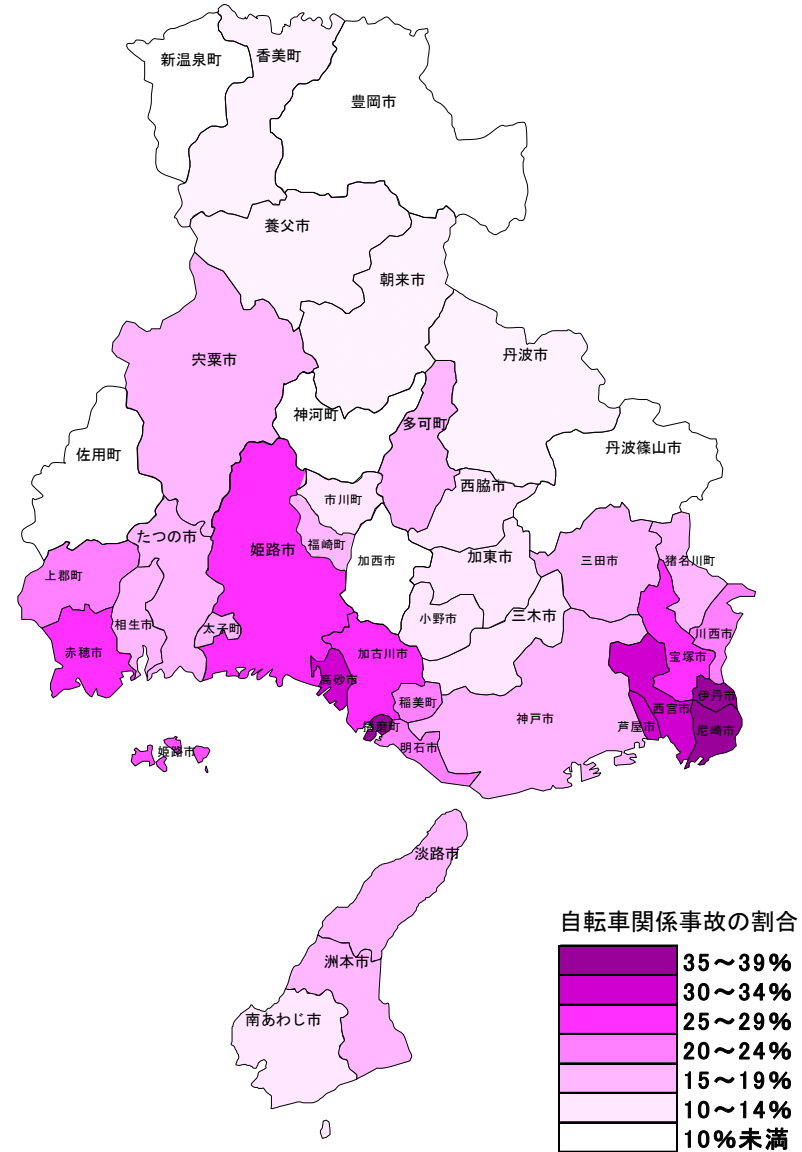
出典:交通事故の発生状況(警察庁交通局) 自転車の交通事故の現状(兵庫県) ※増加率は平成19年を100とした場合の値

■通勤・通学時の自転車分担率の分布



出典：国勢調査（平成22年）

■人身事故に占める自転車関係事故割合の分布



出典：自転車の交通事故の現状（兵庫県）（平成29年）